

「授業で聞いて学ぶより、見て体験した方が良くわかった。」

平成24年11月20日

～静岡県警察学校本館新築工事現場で、専門学校生の「現場体験学習会」を開催～

静岡営繕事務所

静岡営繕事務所では、「静岡県警察学校本館」の現場において、「公共建築の日記念イベント」として、現場作業の体験を通して建築をより良く理解してもらうことを目的として、静岡産業技術専門学校の生徒（55名、引率者3名）を対象とした「現場体験学習会」を、11月2日（金）に開催しました。

まず、設計担当者から本館の施設概要と特徴について説明し、引き続き監督職員より現場の進捗状況について説明をしてから、現場での「体験学習」を実施していただきました。

参加した専門学校生は、授業で本や写真しでしか見たことが無い鉄筋、型枠、断熱材や支保工などの施工の様子に興味深く見学していました。

現場での「体験学習」では、「鉄筋の結束作業」「墨出しの作業」「コーンのモルタル埋め」等を体験し、「作業をする人はこんなに数があって大変だ。（鉄筋結束）」「建物を造るのに、こんなに設計図や施工図が必要なんだ。」等の感想が聞かれました。

また、当日記入いただいたアンケートでも、「授業で聞いて学ぶより見て体験した方が良くわかった。」「体験っていいですね。」「現場体験を通して現場に興味がわきました。」「作業されてる方の説明は文章の数倍分かりやすかったです。」「建築はすごく難しいと感じました。でも作業はとても楽しかったです。」など、現場作業を体験出来たことが非常よかったと言う感想が多く寄せられました。

引率の先生からも、「現場に興味を示す生徒が増え、就職の選択肢が増えた。」とお礼の言葉もいただきました。

「へえ～」、「なるほど」がいっぱい

旬な現場

～ 普段見られない工事の様子、詳しくお見せします ～



施工図・プロット図の説明



コーンのモルタル埋め体験



型枠の倒れ確認の体験



設計内容・現場状況の説明



鉄筋の結束作業体験



墨だしの体験

＝先生からのお礼の言葉＝
見学後の学生の授業の取り組み方や理解が変わったと感じています。
1年生は就職活動のスタート時期でただ漫然と設計をしたいという学生ばかりでしたが、先日の就職面談では施工現場で働きたいという女子学生も出てきました。
就職の選択肢も広がり教員は安心していません。
今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。